

令和3年8月例会報告

職場実習「プロジェクトスタイル」の進捗報告、実習の受け入れから感じる就職に必要な力、今後の学習会について話し合われました



今回もハイブリット形式で開催し、会場8名・リモート8名の参加で行いました。

昨年度から集合での研修が難しくなり、感染状況や企業の対策に応じて集まり方を検討しながら進めています。このような状態が約1年半続き、できれば顔を合わせて会議を持ちたい、他社との意見交流をしたいというニーズが高まっていると感じます。

企業提案型 就労体験プログラム

プロジェクトスタイル

実施報告

プロジェクトスタイル

現在までのエントリー者6名・実習終了者3名

雇用促進・就労定着プロジェクトは、仕事の担い手を育てられる地域を目指し、障がいのある方の就職への意欲と、就労支援を行う事業所へのバックアップをします

令和3年度の新しい取り組み「プロジェクトスタイル」の参加企業からの実施報告がありました。すでに実習に参加された3名の方は、企業実習が初めての若年層の方でした。

就労支援の段階において、実習の意味合いが違ってきます（モチベーション実習・スキルアップ実習・マッチング実習）。今回のプロジェクトスタイルでは、お申し込み時にご本人と支援担当者に事務局までお越しいただき、その際に、どのような実習にするかを話し合っています。ご本人の求める段階により、受け入れ企業は評価や対応を変えて提供することができるため、事前の事業所評価もとても大切な基準となります。

この機会を通して、ご本人・支援者・企業がお互いに学び合いながら、地域の就労支援を充実させていきたいと考えています。

<雇用促進・就労定着プロジェクトの活動>

今後の活動の4つの柱

情報発信

求職者・福祉に向けた障がい者雇用に関する発信を行います

教育

プロジェクト内研鑽・社内の人材育成・在職者教育など

組織拡大

障がい者雇用に関心を持つ企業や取り組みに興味関心を示してくれる企業への参加の拡充

提言

障がい者雇用に関わる、地域・行政・他団体への提言

学習会の大きなテーマは「教育」です。

障がい者雇用に関わることができる社内の人材育成・定着に関わる学習会や在職者研修とのコラボ企画・採用に関わる仕事の切り出し方やその後の支援体制など、その活動を様々な内容に波及させていく予定です。今後も随時、活動の様子をお知らせいたします。

今回、新しく3社のご担当者が加わり19社21名での活動となりました。

抱える課題や目標は違う中で、障がいのある方を戦力として雇用し続けて行くことは簡単なことではないことを皆さんが実感しており、だからこそ、自分たちの研鑽を重ね、日々取り組むことの必要性を感じています。

今年度は、「プロジェクトスタイル」や「仕事の魅力発見フェス」のような周囲への情報発信に加え、コロナ疲れやストレスに悩んでいる自社の社員への対応策について、改めて学習会を行っていきます。

